



氏名	朝倉 槇人 / ASAKURA Makito	職名	助教	学位	博士 (文学)
所属	一般科目 / 品川キャンパス	E-mail	m.asakura(at)metro-cit.ac.jp		
シーズ キーワード	観光まちづくり、地域社会、農村性				

相談可能なテーマ	講座・講演会のテーマ例
<ul style="list-style-type: none"> <li>・質的調査法 (特にインタビューや参与観察など)</li> <li>・地理教育における地図の活用</li> <li>・地理的事象を題材としたまち歩き</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地形図で読み解く品川区の近現代 (一般向け)</li> <li>・地理的な見方・考え方って何だろう (中学生向け)</li> </ul>

研究・教育内容の紹介

<日本の農村部における観光開発の展開とその地域的特徴の検討>

現在、日本の農村部では、観光開発・観光振興をめぐる、地域住民の生きがい創出などの非経済的な効果が重視されるようになってきています。また、地域住民のありふれた日常の営みに観光資源としての価値が見出されることも珍しくありません。こうした現状をふまれば、現代日本の農村部において、観光開発・観光振興と地域の関係を理解するためには、観光開発・観光振興に直接的・間接的に関与するホスト (観光業非従事者を含む) が、同時に地域社会の生活者でもある点に注目して、彼 (女) らの多様な思い・葛藤・実践のあり様を記述し、それを規定する地理的・社会的・経済的文脈を検討する必要があります。私はこうした問題意識から、主に徳島県三好市や群馬県みなかみ町の農村部で詳細な聞き取り調査を実施し、ホストの実践が、自らの個人的な価値観や人生観に深く根ざした内的な欲求に導かれながらも、地域を取り巻く社会経済環境や地域内の社会的関係性に強く規定されることを実証的に明らかにしました。この研究は観光開発・観光振興のいわば「土壌」の理解にかかわるものであり、観光地域が抱える課題を深く的確に把握する助けとなるだけでなく、それぞれの地域社会の実情に即した持続可能な観光開発・観光振興のあり方を模索する際の一助となると考えています。



利用可能な機器/施設	所属学会/協会
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本地理学会</li> <li>・人文地理学会</li> </ul>

その他参考事項

通勤・通学の際に目に入る景色、外出先の街で感じる雰囲気など、日常生活の中で意識せず通り過ぎていたものが、実は地理的な思考の入口です。社会が抱える課題の解決に取り組む将来の技術者の育成にとどまらず、生涯学習も見据えて、地域を構造的にとらえる力を育む実践に取り組んでいます。